

↓ ルーツゴルフ

アマチュアゴルファーのために 最高級のゴルフクラブを創り続ける

シニアのアマチュアゴルファーの間で大きな飛距離、爽快感のある打音、その洗練されたプロダクトデザインで支持されているゴルフクラブの会社がある。それが京都に拠点を構えるルーツゴルフだ。

チタンより優れた アーメット鋼のクラブ

ルーツゴルフのクラブは他のメーカーのクラブとまったく何が違うのか？
その大きな理由の一つに使われている素材の違いがある。

株式会社ルーツゴルフの代表取締役、平野俊雄氏が語る。

「ルーツゴルフのクラブのフェースに使われているのは、スーパーアーメット鋼といわれる特殊合金です。これは6・4チタンの二・四倍の耐力・引張り強度を備えている素材で、金属でありながらゴムのようによろしく伸び、大きく変形しても素早く元の戻りという性質があります。この特性をクラブのフェースに生かし、薄くつくることでゴルフボールのインパクトをしつかりと受け止め、大きく弾き返すことが可能になっているのです」

実はこの素材、米軍戦闘機F-18のランディングギア（脚）やレーシングカーのプロペラシャフトにも採用されるほど



(上) アーメットGシリーズ/セミアスリート向け。GIはgentle(上品な)、graceful(優雅な)を表わす。(下) Karyouシリーズ/アクティブシニア向け。Karyouはクラブの打音の響きから美声で鳴く想像上の鳥・迦陵頻伽(かりょうびんが)に由来する。



(右) ヘッドカバー/丁寧な刺繍が施されたおしゃれなキャラクターが秀逸。(下) シャフト/美術工芸品を思わせるシャフト。

「ルーツには「根つこ」「本質」といった意味があります。アマチュアゴルファーが本当に求めているゴルフクラブを創るといふ理想を掲げ、実践しているのです」

新社名は「ブランド名をそのまま生かす」、ルーツゴルフとした。

「ルーツには「根つこ」「本質」といった意味があります。アマチュアゴルファーが本当に求めているゴルフクラブを創るといふ理想を掲げ、実践しているのです」

「製品に妥協はしたくありません。当社六社あり、売り上げ全体の六割を占めている。

「ゴルフクラブのような高額商品がネットですれわたる時代になり、驚いています。当社にとっても、インターネットでの専門販売店というのは、売り上げを大きく伸ばすためではなく、専門店としてお客様へ詳しく、正しい情報を伝えていただき、アフターサービスまでしっかりとフォローしていただけたらというメリットがあります。しかしネット内でのクラブに興味を持たれても、ゴルフクラブに興味を持てられませんが、弊社はお客様に三泊四日で試打クラブの貸し出しを行っています。コースや練習場でご自身のクラブと実際に比較での購入をお勧めしております。試打クラブの貸し出しは電話でもネットでも承っております」

今後シニアのアマチュアゴルファーがメインの顧客であることは変わりがないが、将来も見据えている。

「オリンピック種目にもゴルフが選ばれ、生涯スポーツとしてのゴルフに注目が集まっております。ゴルフそれは人生そのものと、このゲームの奥深さに魅了されているゴルファーはたくさんおられます。我々も不易流行をテーマに製品開発に努め、飛距離とやさしさにごこだわりと理念を持って、また技術の変化には素早く対応しながら、アマチュアゴルファーに喜んでいただける製品を提供し、このゴルフという素晴らしいゲームをいつまでも楽しんでいただけるよう精進してまいります」

では「マス広告やテレビCMなどは控え、経費を抑えています。いい材料を使って、いいものをしつかりつくれば、わかる人にはわかる「京都の商い」「京都のものづくり」を実践しています。おかげさまで素晴らしい姿勢が伝わって、評価が定着しつつあり、大きな利益こそ出てはいませんが、創業以来、小さな火が付き始めて、取支はトントンから現在は、黒字へと変わりつつあります」と平野氏。

実はルーツゴルフは自社で開発設計を手がけるが、生産設備を持たないファブレス型メーカーだ。この機能が有効に働いているのは、ゴルフクラブの製造はパーツごとに異なる分業が成り立っているからという。

「ゴルフクラブは、ヘッド、シャフト、

のスクレモノ。ならば他のメーカーも手がけそうなものだが、大きなネックがあった。「大量生産ができない」「加工が難しい」「メッキ処理が必須」など、量産や生産工程の複雑化といったデメリットは、当然、コストに跳ね返ってきてしまうのだ。

しかし、平野氏は後発メーカーだからこそチャレンジする意味があるとして決して諦めなかった。その情熱を支えたものは何か。カギは今から一七年前、ゴルフ量販店に勤務していた時代に遡る。当時は「プロが使うクラブで練習すればうまくなる」という考えが主流だったが、平野氏は違和感を抱いていた。一部のゴルファーにはうまくなくても、大半のゴルファーには難しく、芯でボールを捉えられず、思うような飛距離が出ない。

「もっとやさしく簡単に飛ばせるアマチュアゴルファーのためのゴルフクラブを創りたい」。その思いを抱いたまま、大阪で各種のスポーツ用品を製造している会社のゴルフ事業部に転職し、クラブの

グリップで構成されます。それぞれに優秀な協力工場があり、アップルではありませんが、水平分業での製造体制を構築しています。当社は製品が設計通に仕上がっているか、性能をチェックし、仕上げまで目配りをしていきます」

また平野氏はルーツゴルフのブランドインングにも創業以来、力を注いできた。製品や機能そのものには絶対の自信があったが、製品の価値をさらに高めるプロダクトデザインやブランドインングに物足りなさを感じていたという。

「デザイナー数人に会い、何人か起用しましたが、決め手に欠けていました。あるとき人を介してお会いしたのが現在、トータルデザインをお任せしているコイゾミデザインファクトリーの小松達治さんでした。デザイナー・ブランドインングのお話をし、彼の作品を見たときに閃くものがありました」

現在、ルーツゴルフのゴルフクラブは、セミアスリート向けのアーメットGとアクティブシニア向けのKaryou Gから「よ」と二つのラインアップを展開しているが、どちらのラインアップも美術工芸品を思わせる高級感漂うデザインとなっている。

また同社の製品がアマチュアゴルファーに広く認知されるに至った要因の一つにインターネット販売の浸透がある。現在ネットでのルーツゴルフ専門販売店は

治さんでした。デザイナー・ブランドインングのお話をし、彼の作品を見たときに閃くものがありました」

現在、ルーツゴルフのゴルフクラブは、セミアスリート向けのアーメットGとアクティブシニア向けのKaryou Gから「よ」と二つのラインアップを展開しているが、どちらのラインアップも美術工芸品を思わせる高級感漂うデザインとなっている。

「製品に妥協はしたくありません。当社六社あり、売り上げ全体の六割を占めている。

「ゴルフクラブのような高額商品がネットですれわたる時代になり、驚いています。当社にとっても、インターネットでの専門販売店というのは、売り上げを大きく伸ばすためではなく、専門店としてお客様へ詳しく、正しい情報を伝えていただき、アフターサービスまでしっかりとフォローしていただけたらというメリットがあります。しかしネット内でのクラブに興味を持たれても、ゴルフクラブに興味を持てられませんが、弊社はお客様に三泊四日で試打クラブの貸し出しを行っています。コースや練習場でご自身のクラブと実際に比較での購入をお勧めしております。試打クラブの貸し出しは電話でもネットでも承っております」

開発業務を担当することになった平野氏の目の前に現れたのが、アーメット鋼という特殊な鋼材だった。フェースに取り付け、試しに打ってみると飛距離が出やすく、打感や打音もよい。

平野氏は魅せられた。

この合金でゴルフクラブをつくれれば、アマチュアゴルファーももっと喜んでもらえるはずだ。

開発は困難なものであったが、完成したアーメット鋼のゴルフクラブはアマチュアゴルファーから一定の評価を得るまでになっていた。

しかし三年後、思いもよらない事態が訪れる。同社がゴルフクラブ事業から撤退を発表したのだ。アーメット鋼のゴルフクラブに確かなものを感じていた平野氏はこれを機に独立した。二〇〇三年のことである。スムーズにルーツ

アーメット鋼とチタンの比較表



スーパーアーメット鋼(AerMet310)とは、米国・カーペンター・テクノロジ社が開発した超高強度合金。金属としての強さを示す降伏耐力は1896Mpa、引張り強度は2172Mpaとなっており、ともに6・4チタンの2.4倍の数値を記録。その塊れにくさ、粘り強さからゴルフクラブのフェースとしては最適な材料であることが証明されている。



ルーツゴルフ 代表取締役 平野俊雄

アマチュアゴルファーのためのブランド構築

「ルーツには「根つこ」「本質」といった意味があります。アマチュアゴルファーが本当に求めているゴルフクラブを創るといふ理想を掲げ、実践しているのです」

新社名は「ブランド名をそのまま生かす」、ルーツゴルフとした。

「ルーツには「根つこ」「本質」といった意味があります。アマチュアゴルファーが本当に求めているゴルフクラブを創るといふ理想を掲げ、実践しているのです」

「製品に妥協はしたくありません。当社六社あり、売り上げ全体の六割を占めている。

「ゴルフクラブのような高額商品がネットですれわたる時代になり、驚いています。当社にとっても、インターネットでの専門販売店というのは、売り上げを大きく伸ばすためではなく、専門店としてお客様へ詳しく、正しい情報を伝えていただき、アフターサービスまでしっかりとフォローしていただけたらというメリットがあります。しかしネット内でのクラブに興味を持たれても、ゴルフクラブに興味を持てられませんが、弊社はお客様に三泊四日で試打クラブの貸し出しを行っています。コースや練習場でご自身のクラブと実際に比較での購入をお勧めしております。試打クラブの貸し出しは電話でもネットでも承っております」